

私の好きな
時間

六十の手習いか
年寄りの冷や水か

～少林寺拳法に 挑戦～



名古屋市上下水道局 技術本部 管路部
部長

栗田 政一



これを書いている時はまだ定年退職前ですが、この雑誌に掲載されている時は新しい仕事に取り組んでいるのでしょうか？誰しも定年退職を迎える時期が近づくと、少しはその後のことを考えるのではないのでしょうか。そんな時に始めたことを紹介したいと思います。

1. 少林寺拳法との出会い

60歳を目前にして、今後も社会に少しは役に立てることはないかと思うこともあり地域活動に参加するなどしています。しかし、良く考えると休みに何をしているのと聞かれて自信をもってこれをしていきますと人に話をできるものがないことに気づきました。(今回この原稿を書くことになったのは、その質問を受け、少林寺拳法ですと言えたことが

きっかけです。) そんな時、地域活動の一つで参加していた消防団の新年会で少林寺拳法をやっている人がおり、面白そうですねと話をしているうちに、興味がありそうだから見学してみたらと誘われました。格闘技の観戦には多少興味を持っていましたが、やるとなると話は別です。しかし見学に行くと、もう入門することが前提みたいな雰囲気があり、次は試しにやってみましょう。次は道衣も用意するので入門ですねとあっという間の出来事でした。無差別に人を傷つけるような事件も発生しており、自分の身は自分で守るべきだとの思いもあったため、健康増進にも良いかと考え60歳まであと少しという時期に始めてしまったという感じです。

2. 初めて知った少林寺拳法は修行法

少林寺拳法のイメージはあるでしょうか。私は映画の「少林寺」でみた中国の拳法である少林拳を想像しましたが別物でした。少林寺拳法は、突き・蹴り・切り・かわしなどの「剛法」や守法・抜き・逆技などの「柔法」そして整脈などの「整法」の三法があり、開祖である宋道臣が日本で創始した精神修養・護身練胆・健康増進の三徳を兼ね備えた人づくりの行です。私にはまだまだ遠い道のりですが、技の修練を通じて、自信と勇気と行動力を身に着け慈悲心と正義感を養っているのです。技術修練には「基本」



名東道院 (養心殿)

「法形」「乱捕り」「演武」があります。年をとると頭と体は別物ということを実感します。法形や演武では、相手にあわせた動きは、頭では理解できたつもりでも、いざやるとなると、動けないことが多いのです。心得には手数をかけるというものもあります。人、十度、我、百度といわれますが、私の場合は、それ以上に手数をかけないとだめで、人より時間がかかります。家で動画などを見て、動きを確認したりしますが、こんなに美しく理にかなった動きができるようになったら良いなと憧れています。



練習風景

3. 初段に挑戦

60歳の誕生日を目前にして、初段の考試に挑戦しました。当日は、高校生ばかりのなかに、同じ道院のおやじ二人で参加しました。直前の1か月は、道院の仲間にも内緒で、二人でけいこ場を確保して練習をして、なんとか実技科目を身に着けました。前日の稽古では、道院長に何とか合格できるかなと言われたもののまったく自信はない状態で臨みました。また、当日は、なんと防具を忘れるというおまけのハプニングもあり、不安だらけの挑戦でした。課題は何とかクリアしましたが、若者との出来を比べると、益々自信がなくなりました。しかし、年寄りに気を使ってくれたのでしょうか、なんとか合格しました。60歳までに初段になれたので当初の目標は達成できたと思います。

4. 継続は力

道院長はじめ先輩方は非常に暖かく指導をしてくれます。また、同じ年代で同じころに始めた楽しい仲間にも出会えました。お互いに覚えが悪いことを自覚しながら、徐々に習得するよう励ましあっています。さらに、大学生などとも共に修練に励むと、自分との違いも分かり、寂しさを感じる反面、何とか相手になるようにと意気込みも感じます。少林寺拳法の特徴に「組手主体」があります。鍛え合い、共に成長する修練のシステムです。技を掛け合うと当然お互いに痛い思いをしますが、一人では学べない攻防の間合いなどをつかみお互いに技のコツを習得していくのです。こんな状況は普通には無いので、道院の仲間との出会いを大切に思いますし、道院で過ごす時間はわたしの大切な時間になりました。体力に応じた修行と永続して行うという技術修練の心得もあります。年寄りの冷や水と思われぬように、まずは2段を目指しあきらめないで修練に楽しく励みたいと思います。



名東道院の仲間 (2022 新春法会)

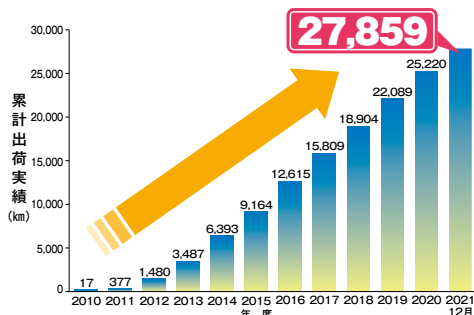
自然災害に強いハザードレジリエントダクタイトイル鉄管!!

地震に強だけでなく、津波や液状化などの二次災害、近年増加している台風・豪雨などの災害にも強靱な管体と優れた継手性能によって、有効性を発揮しています。GX形、NS形E種管、S50形管の2021年12月末までの出荷実績等は下記の通りです。

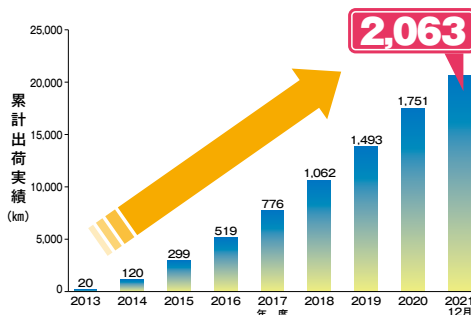


GX形

小口径GX形管の累計出荷実績



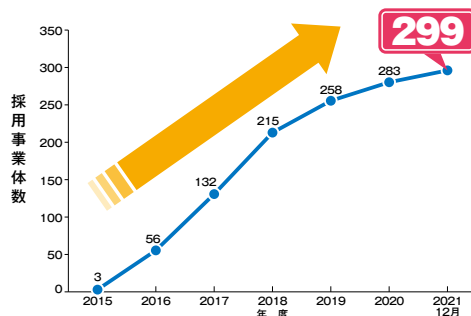
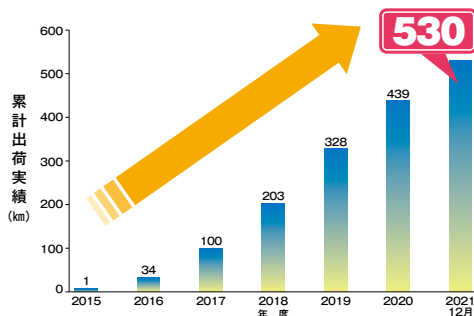
中口径GX形管の累計出荷実績



累計出荷実績29,900km突破!

NS形E種

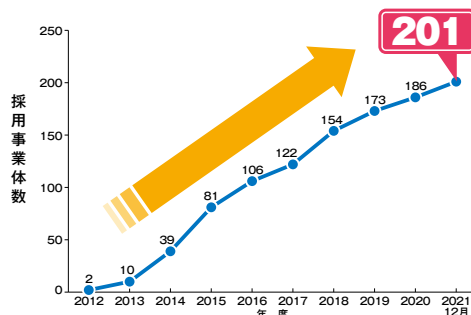
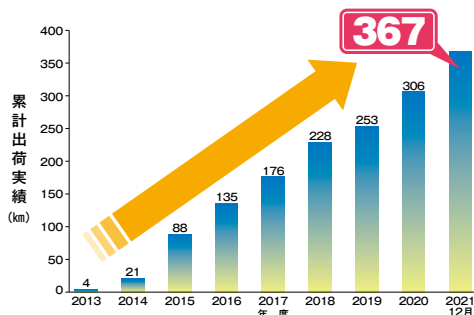
NS形E種ダクタイトイル鉄管の累計出荷実績と採用事業体数の推移



累計出荷実績530km、採用事業体数290突破!

S50形

S50形ダクタイトイル鉄管の累計出荷実績と採用事業体数の推移



累計出荷実績360km、採用事業体数200突破!

展示品・パネル貸し出しのご案内

日本ダクタイトイル鉄管協会では、水道週間や各種イベント等でご利用できる展示物・パネルをご用意しております。水道管路の耐震化、そこに使用されている耐震管について、説明しやすく理解していただきやすい展示物です。みなさまからは好評いただいております。イベントでのリピート使用も多くなっています。ぜひお気軽にご相談下さい。このランキングは2021年4月から12月末までの集計となります。



人気ランキング

展示品編

1

手動模型

貸出し 18回



- ・地震が起きた時の、耐震管と一般管の違いを説明しやすい。
- ・便利な宅急便サイズ

サイズ(梱包時)
W760*H660*D350 約25キロ

2

GX形φ75耐震体験管

貸出し 5回



(説明用パネルとイーゼル付き)

- ・思いっきり引っ張っても抜けない事を体験できる。
- ・地震等で抜けない事を説明しやすい。

サイズ(梱包時)
W1170*H600*D340 約70キロ

3

GX形φ150カットサンプル

貸出し 4回



- ・GX形φ150の現物を見たり触ったりできる。
- ・継手の構造を見ることが出来る。

サイズ(梱包時)
W700*H280*D260 約30キロ

パネル編

1

震度7津波・台風・豪雨にも耐えたダクタイトイル管

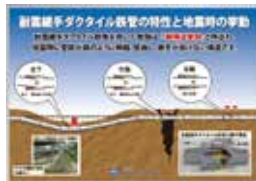
貸出し 17回



2

耐震継手の特性と地震時の挙動

貸出し 15回



3

強くしなやかに！(GX形吊り上げ)

貸出し 10回



4

地震に強いダクタイトイル鉄管(NS形吊り上げ)

貸出し 8回



5

東日本大震災でも実証された耐震管

貸出し 5回



2021 年度日本ダクタイトイル鉄管協会セミナーを開催しました

新型コロナウイルスで各種イベントや展示会等が中止、延期となる中で、当協会では下記セミナーを人数制限と万全の感染防止対策を行い、また会場によってはオンライン配信と併用して開催しました。講演いただいた講師の方々にお礼申し上げます。

2021 年度 ダクタイトイル鉄管協会セミナー 一覧表 《全10会場》

支部	開催日・開催場所	講師	テーマ
東北	2月18日 仙台市	八戸圏域水道企業団 配水課 配水管理グループリーダー 副参事 上野 光弘 氏	水理解析技術の能力が求められている背景 ～管網再構築＝水運用（水理解析技術）～
		名古屋大学 減災連携研究センター 准教授 平山 修久 氏	3.11 の経験を活かし、 これからの水道文化を考える
関東	9月15日 さいたま市	全国管工事業協同組合連合会 専務理事 粕谷 明博 氏	管工事業界の現状と課題
		東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 准教授 荒井 康裕 氏	水道管路システムの維持管理と IoT や AI 技術の活用
	10月26日 オンライン配信	豊中市上下水道局 技術部次長 牟田 義次 氏	豊中市における施設整備と維持管理
		千歳科学技術大学 理工学部 応用化学生物学科 教授 下村 政嗣 氏	バイオミメティクス： 人新世におけるパラダイムシフト
	11月1日 松本市	名古屋市上下水道局 技術本部 管路部長 粟田 政一 氏	名古屋市上下水道局の施設整備計画
		京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻 教授 伊藤 禎彦 氏	水道料金値上げに対する容認度を高めるための コミュニケーション手法
	11月17日 千葉市	横浜市水道局 配水部長 鈴木 雅彦 氏	水道料金改定と管路更新
		東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授 沖 大幹 氏	水と気候変動と持続可能な開発
	1月25日 平塚市	独立行政法人 水資源機構 理事 熊谷 和哉 氏	水道第四世代の創生 ～事業環境の変化と水道事業の経緯と将来
		東京大学 生産技術研究所 基礎系部門 准教授 清田 隆 氏	液状化防災の高度化に関する研究紹介

〈74 頁へつづく〉

仙台会場 会場 8 名、オンライン配信は 30 団体より申込



八戸圏域水道企業団 上野副参事



名古屋大学平山准教授はリモートで参加



埼玉会場 会場 25 名、オンライン配信は 32 団体より申込



全国管工事業協同組合連合会 柏谷専務理事



東京都立大学 荒井准教授



オンライン配信 26 団体より申込



豊中市上下水道局 牟田次長



千歳科学技術大学 下村教授



松本会場 水道事業体 21 名が参加



名古屋市上下水道局 栗田部長



京都大学大学院 伊藤教授



千葉会場 会場 80 名、オンライン配信は 54 団体より申込



横浜市水道局 鈴木部長



東京大学大学院 沖教授



平塚会場 会場 18 名、オンライン配信は 31 団体より申込



水資源機構 熊谷理事



東京大学 清田准教授



埼玉・千葉・平塚会場の
司会進行は2020ミス日本
「水の天使」中村真優さん

2021年度 ダクタイル鉄管協会セミナー 一覧表《全10会場》

支部	開催日・開催場所	講師	テーマ
中部	11月25日 名古屋市	京都市上下水道局 水道部長 伊木 聖児 氏	京都市水道事業における 強靱化に向けた取組について
		岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授 能島 暢呂 氏	激甚災害に対する水道システムの 信頼性向上を目指して
関西	11月24日 大阪市	公益財団法人 水道技術研究センター 常務理事 清塚 雅彦 氏	水道の事故とアセットマネジメント
		東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 都市環境工学講座 教授 滝沢 智 氏	水道管路更新の課題と推進方策
関西・ 中国四国 共催	12月22日 徳島市	金沢大学 理工研究域 地球社会基盤系地震工学講座 教授 宮島 昌克 氏	南海トラフ地震を考える ～強震動、液状化、津波に水道システムはどのように備えるか～
		呉市上下水道局 経営企画課 課長 増木 誠治 氏	豪雨災害後の災害に強いまちづくりの 推進について
中国 四国	10月28日 広島市	鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科 教授 小野 祐輔 氏	地震により生じる地盤変状を予測する 最新技術
		福岡市水道局 配水部 整備推進課長 田中 辰夫 氏	福岡市における配水管の 更新・耐震化の取り組みについて

※ 10月26日の新潟会場のセミナーは新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン配信に変更しました。
 ※ 2月8日の福岡会場及び2月22日の茨城会場のセミナーは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。

名古屋会場 水道事業者 33名が参加



京都市上下水道局 伊木部長



岐阜大学 能島教授



大阪会場 会場 55名、オンライン配信は31団体より申込



水道技術研究センター 清塚常務理事



東京大学大学院 滝沢教授



徳島会場 会場 44 名、オンライン配信は 18 団体より申込



金沢大学 宮島教授



呉市上下水道局 増木課長



広島会場 会場 57 名、オンライン配信は 51 団体より申込



鳥取大学 小野教授



福岡市水道局 田中課長



地盤変状の予測技術を紹介

ダク協中国四国支部
セミナーで更新・耐震化など講演

小野教授

田中課長

日本多クシ鉄協「野崎編・最新全学部 会中国四国支部 野崎山 社会システム土木系科 委部」は、この 10 月 15 日(土)に、今年度同業セミナー「地盤変状の予測技術」を、広島市内の会場とオンライン配信で開催する。このセミナーは、地盤変状の予測技術について、野崎山 山田支部長、田中課長、小野教授、野津山支部長、田中課長、小野教授、野津山支部長が講演する。セミナーの趣旨は、地盤変状の予測技術について、野崎山 山田支部長、田中課長、小野教授、野津山支部長が講演する。

田中課長「福岡市に、2015年7月に発生した大雨による地盤崩壊事故の被害を踏まえ、地盤変状の予測技術について、野崎山 山田支部長、田中課長、小野教授、野津山支部長が講演する。セミナーの趣旨は、地盤変状の予測技術について、野崎山 山田支部長、田中課長、小野教授、野津山支部長が講演する。」

小野教授「地盤変状の予測技術について、野崎山 山田支部長、田中課長、小野教授、野津山支部長が講演する。セミナーの趣旨は、地盤変状の予測技術について、野崎山 山田支部長、田中課長、小野教授、野津山支部長が講演する。」

野津山支部長「地盤変状の予測技術について、野崎山 山田支部長、田中課長、小野教授、野津山支部長が講演する。セミナーの趣旨は、地盤変状の予測技術について、野崎山 山田支部長、田中課長、小野教授、野津山支部長が講演する。」

豊中市の管路の更新基準など

ダク協新潟セミナーをオンラインで

田中課長

田中課長

ダク協新潟支部は、10月24日(土)に「豊中市の管路の更新基準など」をテーマとしたオンラインセミナーを開催した。このセミナーは、豊中市の管路の更新基準について、田中課長が講演する。セミナーの趣旨は、豊中市の管路の更新基準について、田中課長が講演する。

田中課長「豊中市の管路の更新基準について、田中課長が講演する。セミナーの趣旨は、豊中市の管路の更新基準について、田中課長が講演する。」

田中課長「豊中市の管路の更新基準について、田中課長が講演する。セミナーの趣旨は、豊中市の管路の更新基準について、田中課長が講演する。」

田中課長「豊中市の管路の更新基準について、田中課長が講演する。セミナーの趣旨は、豊中市の管路の更新基準について、田中課長が講演する。」

水道産業新聞でも取り上げられました

HINODE

IoTを活用した 管網管理の効率化

流況監視ユニット

センサで計測した水圧や流量などの流況を
アンテナとバッテリーを搭載した鉄蓋からクラウドに送信
事務所やスマートフォンから流況の遠隔常時監視を
可能にするボックスユニットです



詳しい特長はこちら

日之出水道機器株式会社

本社 / 福岡市博多区堅粕5-8-18(ヒノデビルディング) Tel(092)476-0777
<https://hinodesuido.co.jp>

日本の上下水道を支える —— TOHYAMAの鑄鉄管



■ 営業品目

上・下水道用 }
工業用下水道用 } ダクタイル鑄鉄管
ポンプ用 } (口径75mm~3,000mm)



〔〇〕日本ダクタイル異形管工業会会員

株式会社 遠山鐵工所

本社 埼玉県久喜市菟浦町昭和18番地
☎0480(85)2111 FAX0480(85)7100

浄水場・配水池・水処理センターの建設、更新に 丸マークのフランジ形異形管



豊富な管種、安定した品質、確実な納期で九州鑄鉄管の製品は日本全国で活躍しています。

 **九州鑄鉄管株式会社**

<http://www.kyuchu.co.jp>

本 社：福岡県直方市大字上新入1660-9

TEL 0949-24-1313

東京支店：東京都千代田区内神田2-7-12 第一電建ビル401号

TEL 03-3525-4551

ホームページで便覧がダウンロード できるようになりました。



そのほか、各種技術資料もダウンロードできます。



(一社) 日本ダクタイル鉄管協会

編集後記

- コロナ禍においても、本誌「ダクタイトイル鉄管」110号は多くの皆様にご協力をいただき、発刊することができました。
- 巻頭言は、昨年10月1日に厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長に就任された名倉課長に執筆いただきました。3月に開催された全国水道関係担当者会議での資料等もご紹介いただき、更新の前倒しや場合によっては長寿命化して更新を先延ばしする提案もされています。
- 3月末に金沢大学を定年退職された宮島教授に最終講義と題して、執筆いただきました。宮島教授には、地震調査団として技術レポートの執筆、過去には座談会への出席など、協会誌の編集にご尽力いただきました。
- 今号では、徳島市の久米管理者に特別インタビューを実施しました。久米管理者の水道界への熱い想いを感じる誌面構成となっておりますので、是非ご一読ください。
- 上下水道事業者の住民向けPRの方法などを紹介する事業者だよりは、今回8つの事業体に寄稿いただきました。各地域では、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントを実施することが困難な中でも、住民の皆さんに水道事業の理解を深めてもらう取り組みが行われています。今回の事業者だよりでは、住民広報の取り組みだけでなく、広域化や運営基盤の強化策、若手職員の人材育成なども掲載されていますので参考にさせていただけると幸いです。

ダクタイトイル鉄管第110号〈非売品〉

2022年4月15日発行

編集兼発行人 久 保 俊 裕

発行所 一般社団法人
日本ダクタイトイル鉄管協会
(<https://www.jdpa.gr.jp>)

本部・関東支部	〒102-0074	東京都千代田区九段南4丁目8番9号(日本水道会館)
		電話03(3264)6655(代) FAX03(3264)5075
関西支部	〒542-0081	大阪府中央区南船場4丁目12番12号(ニッセイ心斎橋ウエスト)
		電話06(6245)0401 FAX06(6245)0300
北海道支部	〒060-0002	札幌市中央区北2条西2丁目41番地(札幌2・2ビル)
		電話011(251)8710 FAX011(522)5310
東北支部	〒980-0014	仙台市青葉区本町2丁目5番1号(オーク仙台ビル)
		電話022(261)0462 FAX022(399)6590
中部支部	〒450-0002	名古屋市市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)
		電話052(561)3075 FAX052(433)8338
中国四国支部	〒730-0032	広島市中区立町2番23号(野村不動産広島ビル8階)
		電話082(545)3596 FAX082(545)3586
九州支部	〒810-0001	福岡市中央区天神2丁目14番2号(福岡証券ビル)
		電話092(771)8928 FAX092(406)2256

水をつなぐ、 しあわせをつむぐ

安心できる水と暮らしている人のために、
その水をつなぐために努力する全ての人と共に、
日本鑄鉄管は、技術と知識で
安心できる暮らしと構造を実装します。



日本鑄鉄管株式会社

本 社 | 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル ☎ 03-3546-7675
久喜工場 | 〒346-0193 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼一番地 ☎ 0480-85-1101
支 社 | 北海道支社、東北支社、中部支社、九州支社



www.nichu.co.jp

For Earth, For Life
 Kubota

ON YOUR SIDE

1890年の創業から「食料・水・環境」の課題解決に向けて歩んできたクボタ。
これからも一歩一歩、すべての人と心をひとつに、明日へと進み続けます。

株式会社クボタ